

検証用ファイル

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

Antenna House PDF Tool API V5.0

コマンドライン説明書

サンプル

Antenna House, Inc.

目次

目次.....	1
1. コマンドラインについて.....	2
2. 動作環境.....	2
3. コマンドラインの実行に必要なファイル.....	3
3.1. Windows 版.....	3
3.2. Linux 版.....	3
4. コマンドラインの使い方.....	4
4.1. Windows 版.....	4
4.2. Linux 版.....	4
5. コマンドラインの仕様.....	5
5.1. 入出力ファイルの指定方法.....	5
5.2. コマンドの種類.....	5
5.3. 各コマンドのパラメータ.....	5
5.3.1. -getFileInfo.....	5
5.3.2. -changeDocInfo.....	6
5.3.3. -changeViewInfo.....	6
5.3.4. -mergeFiles.....	7
5.3.5. -getOutlineInfo.....	7
5.3.6. -getAnnotInfo.....	7
5.3.7. -setPdfWatermark.....	7
5.3.8. -setImageWatermark.....	8
5.3.9. -setTextWatermark.....	9
5.3.10. -setColorWatermark.....	10
5.3.11. -encrypt.....	10
5.3.12. -decrypt.....	11
5.3.13. -optimize.....	11
5.4. エラー処理について.....	13
5.4.1. コマンドラインの戻り値 (Windows).....	13
5.4.2. コマンドラインの戻り値 (Linux).....	13
5.4.3. エラーの内容について.....	13

1. コマンドラインについて

Antenna House PDF Tool API V5.0 (PDF Tool API V5.0) のコマンドラインは、PDF Tool API V5.0 の C++インターフェースを使用して作成されたコンソール型アプリケーションです。PDF Tool API V5.0 については、「AHPDFToolAPI_V5_Manual.pdf」もあわせてご参考ください。

※コマンドライン仕様は、PDF Tool API V5.0 のすべての仕様を網羅するものではありません。

2. 動作環境

Windows	Microsoft Windows 10 ※1 / 8.1 ※2 / 8 ※2 / 7 ※3 (32bit/64bit) 日本語版
	Microsoft Windows Server 2012R2 / 2012 / 2008R2 / 2008 (32bit/64bit) 日本語版
	Microsoft Visual Studio 2010 Visual C++ライブラリのランタイムコンポーネント ※4
Linux	コマンドラインは GCC4.1 でビルドされています。

※1 Windows 10 の対応エディションは、Home / Pro / Enterprise / Education

※2 Windows 8.1 / 8 の対応エディションは、Pro / Enterprise

※3 Windows 7 の対応エディションは、Home Premium / Professional / Enterprise / Home Basic / Starter / Ultimate

※4 Visual C++ライブラリのランタイムコンポーネントは、32bit 版 API を使用する場合は x86 用、64bit 版 API を使用する場合は x64 用のコンポーネントが必要です。

Antenna House, Inc.

3. コマンドラインの実行に必要なファイル

3.1. Windows 版

メインモジュール	メインモジュールと依存関係にあるモジュールファイル
AHPDFToolCmd50.exe	PdfTk50.dll AHCommon13.dll AHDMC13.dll AHFontService12.dll AHGraphicService10.dll AHPDFEditLib10.dll AHPDFLib20.dll icudt52.dll icuin52.dll icuiO52.dll icule52.dll iculx52.dll icutu52.dll icuuc52.dll PDFLinearizer60.dll PdfTkEx50.dll

サンプル

3.2. Linux 版

インストーラにより、コマンドラインの実行に必要なファイルとコマンドを実行するためのシェルスクリプトがインストールされます。

Antenna House, Inc.

インストールフォルダ ---- run.sh (AHPDFToolCmd50 を実行するシェルスクリプト)
|-- ToolCmd フォルダ --- AHPDFToolCmd50 (コマンド実行)
|-- lib フォルダ (PDF Tool API バイナリファイル)

4. コマンドラインの使い方

4.1. Windows 版

コマンドラインアプリケーションは、次のような引数をとります。

AHPDFToolCmd50.exe [コマンド] [パラメータ] -d (入力ファイルパス) -o (出力ファイルパス)

パラメータを持つコマンドの場合、「コマンド」指定後に必ず「パラメータ」を指定してください。

4.2. Linux 版

インストーラにより、コマンドアプリケーションを実行するシェルスクリプトがインストールされます。

sh run.sh [コマンド] [パラメータ] -d (入力ファイルパス) -o (出力ファイルパス)

パラメータを持つコマンドの場合、「コマンド」指定後に必ず「パラメータ」を指定してください。

サンプル

Antenna House, Inc.

5. コマンドラインの仕様

5.1. 入出力ファイルの指定方法

	コマンド	内容
入力ファイル	-d (ファイルパス) [パスワード]	処理対象となる PDF ファイルパスを指定します。パスワード文字列を指定すると、セキュリティ付き PDF に対しても処理が可能です。 例) -d c:¥test¥test.pdf ownerpass
出力ファイル	-o (ファイルパス) [-linearize]	保存先となる PDF ファイルパスを指定します。「-linearize」オプションを付けた場合は、リニアライズ保存 (Web 表示用に最適化) されます。 例) -o c:¥test¥out.pdf -linearize

5.2. コマンドの種類

コマンド	内容
-getFileInfo	文書プロパティ情報、開き方情報、セキュリティの有無を取得します。出力ファイル指定 (-o) は不用です。
-changeDocInfo	文書プロパティ情報を設定します。
-changeViewInfo	開き方を設定します。
-mergeFiles	複数の PDF ファイルをひとつのファイルに結合します。
-getOutlineInfo	しおり情報を取得します。出力ファイル指定 (-o) は不用です。
-getAnnotInfo	注釈 (ノート、リンク、スタンプ、ファイル添付) 情報を取得します。出力ファイル指定 (-o) は不用です。
-setPdfWatermark	PDF ファイルを透かしとして挿入します。
-setImageWatermark	画像ファイルを透かしとして挿入します。
-setTextWatermark	文字列を透かしとして挿入します。
-setColorWatermark	色の透かしを挿入します。
-encrypt	セキュリティを設定します。
-decrypt	セキュリティを削除します。
-optimize	PDF を最適化します。

5.3. 各コマンドのパラメータ

5.3.1. -getFileInfo

パラメータ	内容
パラメータはありません。	

コマンド設定例

-getFileInfo -d c:¥test¥test.pdf

5.3.2. -changeDocInfo

パラメータ	内容
-title Val	「タイトル」の設定
-subject Val	「サブタイトル」の設定
-author Val	「作成者」の設定
-keywords Val	「キーワード」の設定
-creator Val	「アプリケーション」の設定
-producer Val	「PDF 変換」の設定

パラメータ設定例

```
-changeDocInfo -title "PDF Tool API テスト" -author アンテナハウス株式会社
```

5.3.3. -changeViewInfo

パラメータ	内容
-direction Val	読み上げオプション（綴じ方）の設定 1: 左から右（左綴じ） 2: 右から左（右綴じ）
-pageLayout Val	ページレイアウトの設定 1: 単一ページ 2: 連続ページ 3: 連続見開きページ 4: 連続見開きページ（表紙） 5: 見開きページ 6: 見開きページ（表紙）
-pageMode Val	表示状態の設定 1: ページのみ 2: しおりパネルとページ 3: ページパネルとページ 5: レイヤーパネルとページ 6: 添付ファイルパネルとページ
-fitWindow Val	ページにウィンドウサイズを合わせる true: 合わせる false: 合わせない
-centerWindow Val	ウィンドウを画面中央に配置 true: 配置する false: 配置しない
-fullScreen Val	フルスクリーンモードで開く true: フルスクリーンで開く false: フルスクリーンでは開かない
-displayTitle Val	ウィンドウのタイトルバーに文書プロパティの「タイトル」を表示する true: 表示する false: 表示しない
-hideToolbar Val	ツールバーを非表示 true: 非表示 false: 表示
-hideMenubar Val ※	メニューバーを非表示 true: 非表示 false: 表示
-hideWindowUI Val ※	ウィンドウコントロールを非表示 true: 非表示 false: 表示

※「-hideMenubar true - hideWindowUI true」を設定した PDF ファイルを Acrobat/Adobe Reader で表示した場合、メニューバーは表示されます。

パラメータ設定例

```
-changeViewInfo -pageLayout 2 -pageMode 3 -displayTitle true -hideToolbar true
```

5.3.4. -mergeFiles

パラメータ	内容
パラメータはありません。	

コマンド設定例

```
-mergeFiles -d c:%test%test1.pdf -d c:%test%test2.pdf userpass -o c:%sav%out.pdf -linearize
```

5.3.5. -getOutlineInfo

パラメータ	内容
パラメータはありません。	

コマンド設定例

```
-getOutlineInfo -d c:%test%test.pdf userpass
```

5.3.6. -getAnnotInfo

パラメータ	内容
パラメータはありません。	

コマンド設定例

```
-getAnnotInfo -d c:%test%test.pdf
```

5.3.7. -setPdfWatermark

パラメータ	内容
-pdfPath [パスワード]	透かしにする PDF ファイルパスの指定
-scale Val	挿入する透かしの倍率（範囲：0.0～50.0）
-rect left bottom right top	透かしを配置する矩形の指定（mm 単位）
-margin top left bottom right	透かしを配置するときの余白の設定（mm 単位）
-align Val	透かしの配置場所の設定 1: 左上 2: 中央上 3: 右上 4: 左中 5: 中央 6: 右中 7: 左下 8: 中央下 9: 右下
-zorder Val	透かしの Z オーダーの設定 1: 前面 2: 背面
-pageRange Val	透かしを挿入するページ範囲の設定 0: 全ページ 1: 先頭ページのみ 2: 最終ページのみ 3: 奇数ページ 4: 偶数ページ 5: 指定したページ

-pageRangeCustom Val	透かしを挿入するページ番号指定。「-pageRange 5」の場合に設定必須。1 ページを「0」とする。 例) -pageRangeCustom "0,2-4" 1 ページと 3～5 ページに挿入される。
-notInFirst	先頭ページには透かしを挿入しない
-notInLast	最終ページには透かしを挿入しない
-notDisplay	透かしを表示しない
-notPrint	透かしを印刷対象としない
-opacity Val	透かしの透明度の設定 (範囲 : 0.0～1.0)
-tiling	タイリング挿入

パラメータ設定例

```
-setPdfWatermark -pdfPath c:¥test¥mark.pdf -scale 0.5 -opacity 0.7
```

5.3.8. -setImageWatermark

パラメータ	内容
-imagePath	透かしにする画像ファイルパスの指定。 対応形式 : bitmap、jpeg、png、tiff、gif
-scale Val	挿入する透かしの倍率 (範囲 : 0.0～50.0)
-rect left bottom right top	透かしを配置する矩形の指定 (mm 単位)
-margin top left bottom right	透かしを配置するときの余白の設定 (mm 単位)
-align Val	透かしの配置場所の設定 1: 左上 2: 中央上 3: 右上 4: 左中 5: 中央 6: 右中 7: 左下 8: 中央下 9: 右下
-zorder Val	透かしの Z オーダーの設定 1: 前面 2: 背面
-pageRange Val	透かしを挿入するページ範囲の設定 0: 全ページ 1: 先頭ページのみ 2: 最終ページのみ 3: 奇数ページ 4: 偶数ページ 5: 指定したページ
-pageRangeCustom Val	透かしを挿入するページ番号指定。「-pageRange 5」の場合に設定必須。1 ページを「0」とする。 例) -pageRangeCustom "0,2-4" 1 ページと 3～5 ページに挿入される。
-notInFirst	先頭ページには透かしを挿入しない
-notInLast	最終ページには透かしを挿入しない
-notDisplay	透かしを表示しない
-notPrint	透かしを印刷対象としない
-opacity Val	透かしの透明度の設定 (範囲 : 0.0～1.0)
-tiling	タイリング挿入

パラメータ設定例

```
-setImageWatermark -imagePath c:¥test¥mark.bmp -scale 2.0 -pageRange 5 -pageRangeCustom "0,3,10-12" -opacity 0.8 -tiling
```

5.3.9. -setTextWatermark

パラメータ	内容
-text Val	透かしとして挿入する文字列の設定
-colorText r g b	文字の塗りつぶし色の設定(範囲:r,g,b それぞれ 0.0~1.0)
-colorOutline r g b	文字の輪郭の色の設定 (範囲 : r,g,b それぞれ 0.0~1.0)
-diagonal	透かしをページの対角線上に挿入する
-angle Val	透かしの挿入角度の設定
-rect left bottom right top	透かしを配置する矩形の指定 (mm 単位)
-margin top left bottom right	透かしを配置するときの余白の設定 (mm 単位)
-align Val	透かしの配置場所の設定 1: 左上 2: 中央上 3: 右上 4: 左中 5: 中央 6: 右中 7: 左下 8: 中央下 9: 右下
-zorder Val	透かしの Z オーダーの設定 1: 前面 2: 背面
-pageRange Val	透かしを挿入するページ範囲の設定 0: 全ページ 1: 先頭ページのみ 2: 最終ページのみ 3: 奇数ページ 4: 偶数ページ 5: 指定したページ
-pageRangeCustom Val	透かしを挿入するページ番号指定。「-pageRange 5」の場合に設定必須。1 ページを「0」とする。 例) -pageRangeCustom "0,2-4" 1 ページと 3~5 ページに挿入される。
-notInFirst	先頭ページには透かしを挿入しない
-notInLast	最終ページには透かしを挿入しない
-notDisplay	透かしを表示しない
-notPrint	透かしを印刷対象としない
-opacity Val	透かしの透明度の設定 (範囲 : 0.0~1.0)
-tiling	タイリング挿入
-font	透かし文字列のフォント設定
-name Val	フォント名
-size Val	フォントサイズ (point 単位)
-weight Val	太さ (有効値 : 200,300,400,500,600,700,800,900)
-italic	斜体
-embed Val	フォント埋め込み true: 埋め込む false: 埋め込まない

パラメータ設定例

```
-setTextWatermark -text "PDF Tool API V4.0 テスト" -colorText 1 0 0 -colorOutline 0 0 1 -angle 20 -align 5 -opacity 0.9 -font -name メイリオ -size 52
```

5.3.10. -setColorWatermark

パラメータ	内容
-color r g b	挿入する色の設定（範囲：r,g,bそれぞれ0.0～1.0）
-rect left bottom right top	透かしを配置する矩形の指定（mm 単位）
-margin top left bottom right	透かしを配置するときの余白の設定（mm 単位）
-zorder Val	透かしのZオーダーの設定 1: 前面 2: 背面
-pageRange Val	透かしを挿入するページ範囲の設定 0: 全ページ 1: 先頭ページのみ 2: 最終ページのみ 3: 奇数ページ 4: 偶数ページ 5: 指定したページ
-pageRangeCustom Val	透かしを挿入するページ番号指定。「-pageRange 5」の場合に設定必須。1 ページを「0」とする。 例) -pageRangeCustom "0,2-4" 1 ページと 3～5 ページに挿入される。
-notInFirst	先頭ページには透かしを挿入しない
-notInLast	最終ページには透かしを挿入しない
-notDisplay	透かしを表示しない
-notPrint	透かしを印刷対象としない
-opacity Val	透かしの透明度の設定（範囲：0.0～1.0）

パラメータ設定例

```
-setColorWatermark -color 0 1 0 -notInFirst -notPrint -opacity 0.7
```

5.3.11. -encrypt

パラメータ	内容
-userPass Val	文書を開くパスワードの設定
-ownerPass Val	権限パスワードの設定
-filterType Val	暗号化レベルの設定 1: 40bit RC4 2: 128bit RC4 3: 128bit AES 4: 256bit AES
-perms l	「-filterType = 1」（40bit RC4）の場合のセキュリティ設定
-print Val	印刷 0: 許可しない 2: 許可
-modify Val	文書の編集 0: 許可しない 1: 注釈の作成、フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 2: フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 3: ページの抽出を除くすべての操作
-copy Val	内容のコピー true: 許可 false: 不許可

-perms2	「-filterType = 2/3/4」の場合のセキュリティ設定	
	-print Val	印刷 0: 許可しない 1: 低解像度 2: 高解像度
	-modify Val	文書の編集 0: 許可しない 1: ページの挿入、削除、回転 2: フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 3: 注釈の作成、フォームフィールドの入力と既存の署名フィールドに署名 4: ページの抽出を除くすべての操作
	-copy Val	内容のコピー true: 許可 false: 不許可
	-accessibility Val	スクリーンリーダーデバイスのテキストアクセスを有効にする true: 有効 false: 無効

パラメータ設定例

```
-encrypt -ownerPass pass123 -filterType 4 -perms2 -print 0 -modify 1 -copy false
```

5.3.12. -decrypt

パラメータ	内容
パラメータはありません。	

コマンド設定例

```
-decrypt -d c:\test\test.pdf -ownerpass123 -o c:\test\out.pdf
```

5.3.13. -optimize

パラメータ	内容
-optimizeImage Val	画像のダウンサンプリング処理 true: する false: しない ダウンサンプリングは次の設定で行われます。 ・バイキュービック法 ・カラー/グレースケール: 解像度が 225dpi 以上の場合 150dpi まで縮小する ・白黒: 解像度が 450dpi 以上の場合 300dpi まで縮小する
-removeOpenAction Val	開き方設定の削除 true: する false: しない
-removeOutlines Val	しおりの削除 true: する false: しない

-removeAnnots Val	注釈の削除 true : する false : しない
-removeArticles Val	アートの削除 true : する false : しない
-removeThumbnails Val	サムネイルの削除 true : する false : しない

コマンド設定例

```
-optimize -optimizeImage true -removeAnnots true
```

サンプル

Antenna House, Inc.

5.4. エラー処理について

5.4.1. コマンドラインの戻り値 (Windows)

	戻り値
成功	0
パラメータエラー	-1
PdfTk (PDF Tool API の内部ライブラリ) のエラー	PdfTk のエラーコード (PtlErrorCode.h 参照)
その他のエラー	-2

5.4.2. コマンドラインの戻り値 (Linux)

	戻り値
成功	0
エラー	1

5.4.3. エラーの内容について

コマンドラインの実行中にエラーが発生した場合は、標準出力にエラー内容を示すメッセージ文字列が出力されます。

サンプル

Antenna House, Inc.

履歴

日付		修正内容
2016.03.15	改訂 2 (MR2)	・「5.3.13.-optimize」のコマンド設定例を訂正しました。
2015.12.18	改訂 1 (MR1)	・「2.動作環境」に Linux を追加しました。 ・「3.コマンドラインの実行に必要なファイル」に「3.2.Linux 版」を追加しました。 ・「4.コマンドラインの使い方」に「4.2.Linux 版」を追加しました。 ・「5.4.エラー処理について」に「5.4.2.コマンドラインの戻り値 (Linux)」を追加しました。

サンプル

Antenna House, Inc.

サンプル



Antenna House, Inc.

Antenna House PDF Tool API V5.0

コマンドライン説明書

2016.03.15

© Antenna House Inc. 2015-2016 All Rights Reserved.